

# 大谷學報

第二十七卷 第一號

昭和二十三年三月廿五日發行

教相と安心……………金子大榮(一)

明初の僧道循門……………野上俊靜(八)

阿含における解説の思想

展開の一断面……………舟橋一哉(一六)

稻葉昌丸先生略年譜

及び論文著述年表……………日下無倫(三七)

大谷大學

大谷學會

編集後記

本學の研究發表機關の一つ「大谷學報」も新しい世紀を背負つて立つべく、遅まき乍らも漸く復刊し、此處に第一號を送り出す運びになつた事を何よりも先づ共に喜びたい。電力不足その他いろいろの事情で意外に發行が遅れた事は、時節柄とはいひ乍ら、稿を寄せられた先生方には勿論、學生諸君に對しても洵に申譯ない次第である。

巻頭の金子先生の論文は、先生の以前の御考への一端を披瀝して頂いたものとして嬉しい。教相と安心との二つの面は親鸞教に於ける普遍性と個別性、更に學事に於ける精神と機構等と多角的に發展して、極めて大きい問題性を有する。野上・舟橋兩先生も、夫々その方面に於ての眞摯な研究を寄せて頂き、又今回は日下先生に御願ひして、故稻葉昌丸先生の年代譜と著作年表を載せさせて頂いた。折角御利用して下されば幸甚である。

現今、大學の爲すべき事は極めて多い。教育に於ける自覺、學の内容的充實、宗教の復興と普及等——「大谷學報」は此等の任務の一端を擔ふべきであり、又擔ひ得ると信じてゐる。

廣く、學内の、特に少壯氣鋭の人々の御協力を待つ所以である。

昭和二十三年三月二十日 刷  
昭和二十三年三月廿五日 發行  
〔非賣品〕

京都市上京區小山下總町

大谷大學内大谷學會

編輯兼  
發行者

右代表者 名 畑 應 順

京都市下京區東九條山王町三八

印刷所

大寶印刷株式會社  
右代表者 石 井 喜 太 郎

京都市上京區小山下總町

大谷大學内

發行所

大 谷 學 會

電話西陣一六四〇番  
出協一一五〇〇三